

PDCA	事務事業名	水路環境美化事業(防草対策)	部課等名	建設部土木課	建設担当		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 5. 治水・排水対策 単位施策： (1) 河川・ため池の能力強化 個別施策： ①河川・水路改修の推進					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	水路における快適な住環境の創出と浸水被害等の災害防止					
	目的を達成するための手段・活動内容	水路敷に雑草が繁茂することによる生活環境の悪化や、雨天時の水路スクリーン等の詰まりを未然に防ぐ方策として、水路の路肩部分に防草シートやコンクリート等を張ることにより、雑草の繁茂を防止するとともに水路に雑草が流れ込まないようにする。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①防草対策箇所数		6	4	箇所	
		事業費		12,263	4,706	千円	
		人件費		1,990	1,062	千円	
		総事業費	0	14,253	5,768	千円	
		活動単位当たりのコスト	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
	①防草対策1箇所当たりコスト		2,376	1,442	千円		
	成果	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	単位	
		①防草対策率(累計)	実績値		28.6	49.4	%
			目標値		31.7	49.4	
		実績値					
		目標値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
	事業の評価・課題	B					
		市内一円の水路用地について、定期的な樹木等管理委託4件と4箇所の防草対策を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。防草対策が完了した箇所の経過を観察し、草の繁茂が再発しないよう端部箇所などのメンテナンスにより、防草効果を継続させる必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		引き続き、市内一円の除草等を定期的実施するとともに、新たに除草が必要な箇所が確認された場合は、防草対策の可否を判断し、計画的に実施する。					
	令和3年度の目標	成果指標		目標値	単位		
		①防草対策箇所数		9	箇所		